

K A W A K A M I D A M 2007

川上ダム通信

11月号

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

緑豊かな環境の保全・復元を目指して ～第9回川上ダム植物保全対策に関する技術指導を開催～

川上ダム建設所は「伊賀の里 自然にやさしいダムづくり」を標榜しており、ダム建設に伴う環境影響負荷の低減に努めています。11月19日(月)にはダム事業用地及びその周辺に植生する植物の保全に関する指導・助言をいただくため、「第9回川上ダム植物保全対策に関する技術指導」を開催しました。

今回の技術指導では、植物の移植候補地などを視察していただいた後、川上ダム建設所ふれあいホールにて審議が行われ、移植候補地について起伏のある地形とすること、日陰をつくるため生長の早い樹木を植えること、今年の調査で新たに確認された重要な種について生育状況を調査した上で保全対策を行うよう指導していただきました。

川上ダムでは、こうした技術指導いただくことにより、植物の保全対策を適切に実施していきます。

【環境課 水野正明】



サギソウ(保全対象種)



移植候補地の視察状況



会議の状況

川上ダムで青山支所研修会を実施



横坑見学の様子

11月26日(月)、29日(木)の両日伊賀市青山支所の職員の方々が研修のため、川上ダム建設所を視察されました。この研修会は青山地域にある重要事業の一つである川上ダムについて理解を深めて、職員の資質の向上を図ることを目的として開催されたものです。

両日合わせて29人の方々が川上ダム建設所で事業説明を受けたあと、横坑や保護池、付替県道工事現場の視察を行いました。横坑の視察では「こんなに固い岩盤だとは思わなかった。」との声がたくさん聞かれました。【調査設計課 立石浩行】

川上ダム建設促進に向け国交省へ要望書

11月13日（火）と14日（水）の両日、伊賀市、伊賀市議会、川上ダム建設促進期成同盟会の3者連名による要望活動が行われ、川上ダムの建設促進を訴える要望書を国土交通省と財務省並びに水資源機構に提出されました。

国土交通省での要望活動では、河川局長が対応され、今岡伊賀市長を始め西山同盟会会長、同会の役員の方々が伊賀市の洪水対策の現状と川上ダムの早期建設を訴えられたとのことです。

私たち、川上ダム建設所の職員もこの様な地元の皆様の切実な声に後押しされていることを胸に刻み、事業進捗に邁進したいと思います。【総務課長 上村信幸】

第2回木津川上流意見交換会が開催されました



意見交換会の様子

第2回木津川上流意見交換会が11月16日（金）（名張会場）、11月17日（土）（伊賀会場）に開催されました。

2回目となる伊賀会場では、川上ダムと上野遊水地を中心に河川管理者と地域住民の意見交換が行われました。

この意見交換会では、川上ダムの必要性、オオサンショウウオ等の環境調査についての質問の他、川上ダムの早期完成を願う意見等、様々な意見・質問が出されました。なお、意見交換会としてご意見をお聞きする機会は今回までですが、今後も原案に対するご意見・ご質問は河川整備計画原案のHPや郵便・ファックス等で受付されていますので引き続きご意見等お寄せ頂きますようお願いいたします。

河川整備計画 HP : <http://www.yodogawa.kkr.mlit.go.jp/seibi/>

【調査設計課 立石浩行】

阿山名賀退職公務員会研修会、新居地区住民自治協議会が川上ダムを視察

11月8日（木）に阿山名賀退職公務員会約80名が川上ダムを視察されました。川上ダム建設所内のふれあいホールにて川上ダムの概要説明の後、川上ダム建設予定地、オオサンショウウオ保護池を視察していただきました。

阿山名賀退職公務員会の方からは「地元も協力して用地取得も概ね終えているので、早期に本体工事に着手し、事業を完成してもらいたい。」との声をいただきました。【第二用地課長 芦田哲郎】



阿山名賀退職公務員会研修会
（ダムサイトで）の様子



新居地区住民自治協議会
（オオサンショウウオ保護池）視察の様子

11月10日（土）には新居地区住民自治協議会（生活・環境部会）19名が川上ダムを視察されました。新居地区は岩倉峡上流側の木津川および服部川の右岸に位置しており、昔から洪水に見舞われてきた地域であることから、川上ダムの概要説明では早期完成を望む声が多数聞かれました。また、保護池では、普段はなかなか全姿を見せない、保護池で一番大きい全長約1mの個体が姿を現し、視察された皆さまからは、驚嘆の声が聞かれました。

【環境課長 大村朋広】

ふれあいフェスタin青山で広報活動

11月23日（金）、ふれあいフェスタ in 青山で「地域の安全・安心を守る川上ダムを理解してもらおう」というテーマで川上ダムの事業内容や水循環、水利用に関するパネルの展示を行いました。この他にも「クイズに挑戦！」と題して、展示したパネルの中から問題を出題するクイズに参加していただきました。このクイズには約200人のみなさんから回答をいただきました。

【調査設計課 立石浩行】



クイズに挑戦する様子

建設所玄関前のプランターが一新



花の植え替えの様子

11月17日（土）、伊賀市商工会議所青山支部女性部の皆様のご厚意により、建設所玄関前のプランターにパンジーを植えていただきました。女性部の皆様には年に2回花を植え替えていただいております。玄関にきれいな花があると、とても晴れやかな気分になります。ありがとうございました。【環境課 磯野正典】



植え替えられたプランター

第17回

ちよつとオオサンショウウオ！

木津川のオオサンショウウオ

みなさんは、木津川でオオサンショウウオを見たことがありますか。

川上ダムでは、これまで主に前深瀬川と川上川を対象として、オオサンショウウオの生息状況を調査してきましたが、11月中旬に、木津川の前深瀬川合流後から服部川が合流するまでの間で、オオサンショウウオの生息状況の調査を行いました。

11月は、オオサンショウウオの活動が活発な時期ではありませんが、今回の調査でもオオサンショウウオを確認できました。下流の方が大きい個体が多くなる傾向があるそうですが、確認個体数は少なかったものの、今回の確認個体の全長は約80cmから95cmでした。【環境課長 大村朋広】



今回の調査で確認されたオオサンショウウオ（約80cm）

ダンプトラックの走行についてお気づきの点をお知らせください

平素より川上ダム建設事業にご理解・ご協力頂きまして、誠に有り難うございます。

水資源機構川上ダム建設所及び三重県伊賀建設事務所が発注している工事に伴い、県道松阪青山線や県道青山美杉線において、土砂の搬入・搬出用のダンプトラックが走行しておりますが、フロントガラスに右図に示すような車両証を張り付けております。

ダンプトラックの走行には、細心の注意を払うよう努めておりますが、運転マナーなどについてお気づきの点がございましたら、下記の連絡先まで車両番号とともに、ご連絡を頂きますようお願いいたします。近隣の皆様方にはご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。【工務課 飛弾誠二】

連絡先：0595-52-1661
(川上ダム建設所工事課)
連絡先：0595-24-8221
(伊賀建設事務所事業推進室整備2・ダム課)



第5回

斗蓋ヶ淵

ちかた 藤原千方伝説地探訪

千方将軍と四鬼が斗入りの蓋を洗い、酒盛りをしたと言われていました。また、千方の霊をなぐさめる供養の雨乞儀式が伝えられています。

※斗蓋ヶ淵への行き方

近鉄青山町駅から高尾行きバス 25 分出合下車徒歩 1 時間 30 分



斗蓋ヶ淵

EVENT

近鉄万歩ハイキング「伊賀上野城下町周遊」

コース中には小京都とも呼ばれる城下町らしい家屋や通り、芭蕉ゆかりの施設が点在しています。また「伊賀まちかど博物館」の看板を掲げている私的博物館も何軒もあり、館長自慢のコレクションや伝統の技・手仕事なども見学することができます。

○日時／12月2日(日)

○受付場所／伊賀鉄道・上野市駅前

○受付時間 9時30分～10時

○参加費無料、予約不要、雨天決行(荒天中止)

【コース】伊賀鉄道・上野市駅…芭蕉翁生家…蓑虫庵…鍵屋ノ辻…上野公園…伊賀鉄道・上野市駅
(約8km・約2時間)

編集後記

11月18日(日)、比奈知ダムで開催された名張ひなち湖紅葉マラソン大会に川上ダム建設所から7人が参加し、秋の景色と沿道の方からの声援の中、爽やかな汗を流しました。参加した選手の1人は見事準優勝に輝きました。

【広報誌発行事務局】

編集長 及川 拓治 (川上ダム建設所長)

デスク 上村 信幸 (総務課長)

〃 北牧 正之 (工務課長)

通信記者 立石 浩行 (調査設計課)

〃 磯野 正典 (環境課)



ISO14001:2004
JQA-EM5769

☆☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆☆
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。この広報紙は古紙配合率100%再生紙を使用しています。◇